

20年にありがとう。 そして、 次のステージへ。

新潟工科大学は、新潟県内の多くの企業が集まり、130億円を超える多額の寄付を集め、設立されました。

開学後も企業の皆様から数多くのご支援・ご協力をいただき、おかげさまで創立20周年を迎えることができました。

これからも新潟工科大学は、新潟の未来のために企業とともに次のステージへと進んでいきます。



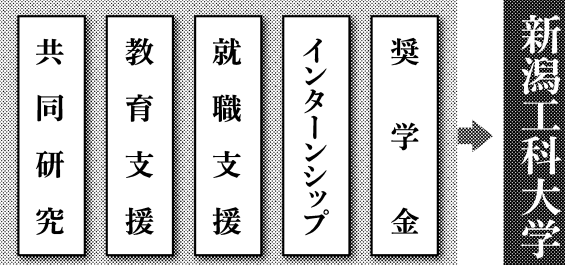
新潟工科大学産学交流会は、県内ものづくり企業を中心に組織され、企業と教育現場の懸け橋として、共同研究や大学教育への支援を行っています。

新潟工科大学 産学交流会

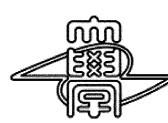
会長 佐藤 功 佐藤食品工業株式会社 取締役会長
副会長 有沢 栄一 株式会社有沢製作所 特別顧問
副会長 吉岡 謙一 北越工業株式会社 代表取締役社長

会員企業募集
私たちと共に
新潟を支える若者を
応援しませんか。

〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地3-1-19 TEL.025-381-1811



新潟工科大学 工学部 工学部【平成27年度設置】大学院工学研究科 生産開発工学専攻
〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地 ☎0257-22-8111 (代表) ☎0257-22-8110 (産学連携) <http://www.niit.ac.jp>



東京電機大学

TOKYO DENKI UNIVERSITY

21世紀の科学技術・知性・感性が輝く人類社会を目指して



TDU 東京電機大学
TOKYO DENKI UNIVERSITY

技術相談等お問合せ ■研究推進社会連携センター 産官学交流センター■

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
メールアドレス: crc@jim.dendai.ac.jp

電話 03-5284-5225 FAX 03-5284-5242
HP: <http://www.dendai.com/>

城東地域×理工系3大学連携セミナー

—防災を機に変わる下町の暮らしと産業—

【開催日時】2014年12月12日(金) 13:00~17:30

【会場】東京電機大学東京千住キャンパス2階
1204セミナー室(足立区千住旭町5番)

【定員】150名(先着順)

【費用】無料(交流会参加費1,000円)

【主催】足立区

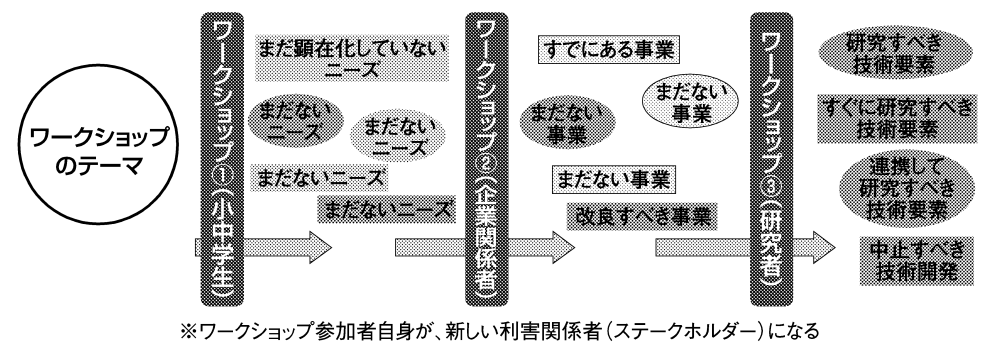
【共催】芝浦工業大学・東京電機大学・東京理科大学

城東地域にキャンパスを開設している3校の理工系大学、芝浦工業大学(江東区)、東京理科大学(葛飾区)、東京電機大学(足立区)が、産業、金融機関、行政と連携しながら、地域産業の活性化への寄与を目的とした連携に取り組みます。

お申し込みURL <http://web.dendai.ac.jp/tlo/news/20141107-02.html>

地域の知の拠点をめざす 大学

「イノベーションは、『異』の融合から生みだされる。」
将来を担う若者を中心とした多様な参加者を集め、
バックキャスト思考により、繰り返しワークショップを開催。
「まだない」ニーズの創発、「まだない」事業を創造、研究すべき技術要素を見出す。



「異」の融合

- ・小中学生、異業種他分野の企業など多様な参加者
- ・「異」の発言を許容する安全な環境
- ・「異」の発言を過激に抑制し、全体を冷静にマネジメントできる進行役(ファシリテーター)
- ・「異」の発言を許容し、創発することの楽しさの体験

対話可視化ツール

- ・発せられた言葉をテキストデータにする
- ・それぞれの発言の相関性、距離の分析
- ・自己組織化マップの生成
- ・ワークショップへのフィードバック

対話ワークショップによる課題の顕在化

また、ワークショップ時の発言をリアルタイムにテキスト化し、テキストマイニングや自己組織化マップなどの手法で無意識のインサイトを可視化することにより、ワークショップのインサイトと統合的に評価し、まだないニーズの顕在化を行っている。

また、ワークショップの確率を高く、また、マーケティングなどにより得られる企業ニーズでは見えない、まだない新しいニーズを知ることはできない。既成概念にとらわれていない子どもたちが

わが国における産学連携は大学の技術シーズと企業ニーズのマッチングに始まり、この15年間、米国の技術移転システムを追いかけようという制度、体制が整備された。それに伴い、共同研究や受託研究、大学知財の活用、大学発ベンチャーの創出・育成などの成果が上りつつある。また、各大学がそれぞれの特色や地域の特性を生かした独自の活動を行うようになってきており、わが国の産学連携が新しいステージに入ったといえるのである。

しかしながら、共同研究のほとんどは規模が小さく、比較的短期間の契約で行われていることから、企業にとっては十分に戦略的に活用されるものにはなっていない。イノベーションを創出す

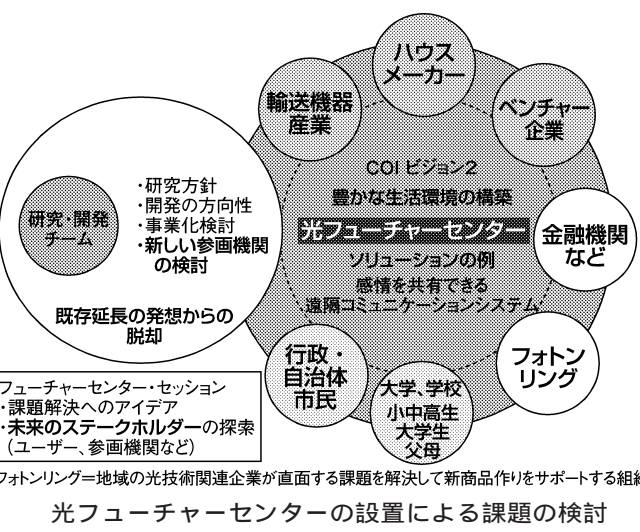
対話プログラムの特徴 未来を担う子どもへの参加

静岡大学はこれらの事業の採択を受け、文科省の対話ツールを基に静岡大学版イノベーション対話ツールを構築し、今後のイノベーション創出活動の有力な手段として位置付けている。ワークショップの基本は多様な参加者による対話の発散と収束の繰り返しにより新

イノベーション創出に向けた新しい流れ

わが国における産学連携は大学の技術シーズと企業ニーズのマッチングに始まり、この15年間、米国の技術移転システムを追いかけようという制度、体制が整備された。それに伴い、共同研究や受託研究、大学知財の活用、大学発ベンチャーの創出・育成などの成果が上りつつある。また、各大学がそれぞれの特色や地域の特性を生かした独自の活動を行うようになってきており、わが国の産学連携が新しいステージに入ったといえるのである。

1998年に大学技術移転促進法が導入され、わが国における本格的な産学連携がスタートして約15年が経過した。現在、共同研究や知的財産の活用、大学発ベンチャーの創出など、量的な実績は増えている。しかしながら、産学連携が十分にイノベーションの創出に貢献しているとはいえない。今後は大学と企業だけでなく金融機関なども入れた知のネットワークの強化、異分野融合のテーマの発掘、まだ顕在化していないニーズの探索など、真にイノベーションの創出につながる産学連携活動が求められている。



Make it Real

「好き」をカタチに——

小さな頃から描いていた夢、みんなを驚かせたいと考えたアイデア、何かに夢中になる好奇心、人の役に立ちたいという願い。そんな「ものづくりの種」をたくさん見つける素養と意欲、実際にカタチにする知識と技術を多くの学生に身につけてもらいたい。

そんな想いをと、
千葉工業大学は
これからも
進化を続けます。



工学部
機械サイエンス学科、電気電子情報工学科
生命環境科学科、建築都市環境学科
デザイン科学科、未来ロボティクス学科

情報科学部
情報工学科
情報ネットワーク学科

社会システム科学部
経営情報科学科
プロジェクトマネジメント学科
金融・経営リスク科学科

千葉工業大学 入試広報課 047-478-0222
<http://www.it-chiba.ac.jp/>



神奈川大学は、優れた研究に基づく発想力・技術力・開発力で、より良い社会づくりに取り組んでいます。

産学、産官学、学学、そして地域との連携・協力を積極的に推進します。



世界へ、そして未来へ
KU 神奈川大学
<http://www.kanagawa-u.ac.jp/>

工学部
(横浜キャンパス)
機械工学科
電気電子情報工学科
物質生命化学科
情報システム創成学科
経営工学科
建築学科
総合工学プログラム

理学部
(湘南ひらつかキャンパス)
数理・物理学科
情報科学科
化学科
生物科学科
総合理学プログラム

■横浜キャンパス 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL 045-481-5661(代)

■湘南ひらつかキャンパス 〒259-1293 平塚市土屋2946
TEL 0463-59-4111(代)

産官学連携推進課 sankangaku-web@kanagawa-u.ac.jp